



# 下地原貝塚

指定名称 しも ぢ ばるかいづか 下地原貝塚 (町指定史跡)  
 所在地 久米島町字具志川下地原  
 1056～58  
 指定年月日 昭和55年5月21日  
 (旧具志川村指定)  
 所有者 安里勝俊ほか2名

遺跡は西方を海岸に接し、標高4～5mの低地に形成されている。遺跡から貝製品(貝斧、貝錘)、土器(ほとんど無文)、石器(スリ石、凹石)等が多く出土する。

沖縄貝塚時代後期(弥生期)の遺跡であるが、久米島におけるほとんどの後期遺跡は、海に面した砂丘地帯に立地しているが、この遺跡のみ真地(マージ)にあり、特異な遺跡である。

